

安全・安心なくらしのための LED防犯灯と進化するスマートハウス

第15回 日本防犯設備協会 特別セミナー

日時 平成26年9月11日(木)
13:00~17:00

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 5F 501会議室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3469-2525

13:00~13:10	協会からのご挨拶
13:10~14:00	①LED防犯灯の適切な普及に向けて「優良防犯機器認定制度へ組み入れ」 かがつう株式会社 取締役 照明本部本部長 乗木 俊毅 氏
14:10~15:00	②『安全・安心を支える夜間街路照明』 千葉工業大学工学部建築都市環境学科教授 望月 悦子 氏
15:20~16:20	③「安全・安心・健康快適なスマートハウス」 トヨタホーム株式会社 技術部 スマートコミュニティ開発室 技監 伊藤 桂一 氏

参加費：会員・防犯設備士・地域協会：2,000円／一般：3,000円

参加のお申し込み方法（先着120名様）

申込書にご記入の上、当協会あてに、FAXあるいはE-mailで、平成26年8月29日（金）までにお申し込みください。
また、当協会のホームページ上にもご案内が掲示されております。**参加費は、必ず銀行振り込みにて**当協会までお振り込みください。ご入金の確認の上、受講票をお送りいたします。また、参加費は、お返しできませんので、ご本人が欠席の場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。

協会ホームページ <http://www.ssaj.or.jp/>

お振込先 ▶ 三井住友銀行 浜松町支店 普通No.6361015 公益社団法人 日本防犯設備協会

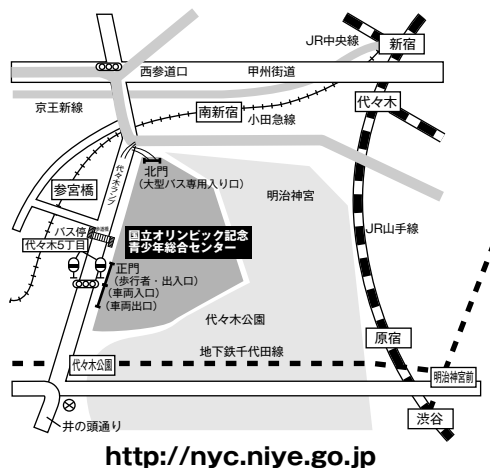
会場の案内

〈国立オリンピック記念青少年総合センター〉

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3469-2525

〈交通のご案内〉

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分
[代々木公園方面出口]
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より
渋谷駅西口(14番)より〈代々木5丁目下車〉



<http://nyc.niye.go.jp>

第15回 日本防犯設備協会 特別セミナー お申込書

公益社団法人 日本防犯設備協会 TEL: 03-3431-7301 FAX: 03-3431-7304 E-mail: yukinori.matsui@ssaj.or.jp

御 社 名			
部署／役職			
お 名 前			
ご 住 所	〒		
ご 連 絡 先	TEL :	FAX :	E-mail :
所 属 等	会員 ・ 防犯設備士 ・ 総合防犯設備士 ・ 地域協会 ・ 一般		

※FAXあるいはE-mailでお申し込みください。所属等の欄に○印をご記入ください。
※複数人でお申し込みの場合は、様式自由で人数分の必要事項をご記入の上お送りください。



① 13:10～14:00

LED防犯灯の適切な普及に向けて 「優良防犯機器認定制度へ組み入れ」

かがつう株式会社 取締役 照明本部本部長 乗木 俊毅 氏

講演概要

LED光源の効率アップ、そして電力エネルギー節減という社会的な要請により、ここ数年LED防犯灯が急速に普及している。多くの地方自治体が地球温暖化防止対策や電力料金節減を目的に防犯灯のLED化に取り組み始めた。しかし、防犯灯がLED化されたことにより誰でもが簡単な知識で商品を作ることができるようになった。しかしその反面市場ではトラブルが散見されたり、採用する地方自治体においては、要求すべき仕様の掘りどころが不明確であり、先行している地方自治体の仕様を参考にしたり、なかにはメーカーの仕様書をそのまま地方自治体の仕様にする事例まで出ている。多くの地方自治体では、仕様の策定、そして製品がその仕様に合致していることを確認することに変な負担を感じており、第三者による認定制度等の期待が高まってきた。

（公社）日本防犯設備協会では、上記状況に因應するため優良防犯機器認定制度「RBSS」にLED防犯灯を今年度より組み入れた。主な講演内容は下記のとおりである。

1. 屋外公共空間における犯罪の状況
2. LED防犯灯の普及状況
3. 明るさ基準とLED防犯灯への対応（防犯照明委員会の取り組み）
4. LED防犯灯導入に関する地方自治体の聞き取り調査（主に仕様策定、及び機器確認）
5. RBSSについて
 - ・ 認定制度の概要（資格審査、機器審査）
 - ・ LED防犯灯の主な性能要求事項
 - ・ 認定品の公開
6. 地方自治体によるRBSS利用事例
7. LED防犯灯の最新商品事例

乗木 俊毅（のりき としたか）

かがつう株式会社 取締役 照明本部本部長

1956年3月生まれ

1978年 大阪電気通信大学 通信工学科 卒業

1978年 かがつう株式会社入社

主に防犯灯、自動点滅器（防犯灯・街路灯用センサースイッチ）の開発・設計に従事

その他 （公社）日本防犯設備協会（防犯照明委員会委員長、RBSS委員会副委員長）

照明学会会員、関東照明器具協同組合理事



② 14:10～15:00

『安全・安心を支える夜間街路照明』

千葉工業大学工学部建築都市環境学科教授 望月 悦子 氏

講演概要

人間は情報の約 7 割を視覚から得ていると言われる。視覚情報を得るために必要不可欠なのが光である。我々の安全・安心な暮らしを支えるために照明環境の整備は非常に重要である。特に、夜間においては、人工照明により効果的に照明する必要がある。一方で、東日本大震災以降、省エネルギーへの要求はますます高まりつつある。できる限り少ないエネルギーで適所・適時・適光の照明環境を実現することが求められる。

技術的には、低消費電力の LED 光源が一般照明としての使用に耐えうるようになり、発光効率も近年めざましく向上してきている。また、強い指向性をもつ LED 光源ならではのグレア（まぶしさ）の問題も照明器具の設計で解決されつつある。

学術的には、薄明視状態での人間の目の視覚特性が解明されつつあり、薄明視の視覚特性に配慮した街路照明の設置例もいくつか見られるようになってきた。

本講演では、人間の視覚特性に配慮し、夜間街路の照明環境がどうあるべきかを考える。

1. 光と人間の視知覚のメカニズム
2. 薄明視における人間の目の視覚特性
3. 夜間屋外光環境の諸問題
4. 津田沼駅南口における街路照明改修の効果検証

望月 悦子（もちづき えつこ）

1974年生まれ

1997年 早稲田大学理工学部建築学科卒

1999年 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程卒業

1999～2002年 旭硝子株式会社

2004年 東海大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程後期修了

2004～2005年 九州大学大学院COE研究員

2005～2007年 日本学術振興会特別研究員

2007年 千葉工業大学工学部建築都市環境学科助教

2010年 千葉工業大学工学部建築都市環境学科准教授

2013年 千葉工業大学工学部建築都市環境学科教授

（一社）日本建築学会会員、（一社）照明学会会員、（一社）日本照明委員会会員

講演内容



③ 15:20～16:20

安全・安心・健康快適なスマートハウス

トヨタホーム株式会社 技術部 スマートコミュニティー開発室 技監 伊藤 桂一 氏

講演概要

地球温暖化対策の一環として、温室効果ガスの排出抑制が進む中、家庭セクターでのCO₂排出低減が強く求められています。

また、電力供給網も、原子力発電の休止・再生可能エネルギーの導入拡大の中で、電力の安定供給が大きな課題となっています。

トヨタホームは、住宅の高断熱化や設備の省エネ化、太陽光発電などの導入を推進し、電力消費の削減を図り、CO₂排出の低減を実施してきました。

現在、更なる効果を狙い、IT(情報通信)技術の活用、創・蓄・省エネ技術の導入による「スマートハウス化」を推進しています。

スマートハウスは、環境面だけでなく、最新技術の活用により安全・安心で健康・快適に過ごして頂ける機器導入も積極的に図り、トータルとして質の高い生活提案をしており、具体例と効果を紹介したいと思います。

1. 取り巻くエネルギー環境の変化
2. スマートハウスとは
3. トヨタホームのスマートハウスの特徴
4. 今後のスマートハウスの進化

伊藤 桂一 (いとう けいいち)

生年月日 昭和27年2月2日

主な職歴

昭和49年4月 トヨタ自動車工業株式会社入社

昭和55年1月 電子技術部電子実験課 係長

昭和63年1月 電子技術部設計課長

平成3年1月 ボデー設計部ボデー電子設計室長

平成15年1月 ボデー設計部品質監査室長

平成17年1月 住宅技術部 設計室長

平成24年2月 トヨタホーム株式会社 技術部 技監

お問い合わせ

公益社団法人 日本防犯設備協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-4 第2長谷川ビル4F／広報担当部長 友廣 一成

TEL:03-3431-7301／FAX:03-3431-7304

E-mail kazunari.tomohiro:ssaj.or.jp ホームページ <http://www.ssaj.or.jp>